

平成18年度一般会計当初予算編成のポイント

予算編成の改革

分権型予算制度の導入

各部署の自主・自律的な判断のもとに予算編成を行う分権型予算制度を導入。

予算総額	1,493億1,000万円のうち			
重点政策経費	190億7,800万円	(うち一般財源)	54億9,300万円	5%
部局裁量経費	1,302億3,200万円	(うち一般財源)	1,020億6,400万円	95%

新年度の重点施策

- (単位：千円)
- 市民福祉の向上**
 社会福祉法人施設整備費補助金(知的障害者施設) 109,425 ・坂ノ市こどもルーム設置 16,000 ・一時保育 7,594 ・子育て短期支援 1,200 ・社会福祉法人施設整備費補助金(私立認可保育所) 34,419 ・保健所建設 723,000 ・中高年に対する健康増進 3,347 ・アルメイダ病院建設費補助金 80,000(債務負担行為 600,000) ・高齢者ワンコインバス事業 309,174 など
- 環境の保全**
 リサイクルプラザ建設 2,476,000 ・大洲園処理場整備 538,796 ・ごみ減量預金制度(どげえかしょうえごみ減量リサイクル) 1,702 ・アスベスト含有家庭用品廃棄物収集 25,370 など
- 教育文化の向上**
 ・大分っ子学習力向上推進 42,547 ・上野ヶ丘中学校校舎改築 623,840 ・神崎中学校校舎改築 300,817 ・王子中学校屋内運動場増改築 281,788 ・戸次小学校プール建設 83,913 ・小中学校校舎等耐震化推進 89,060 ・小中学校トイレ改修 88,306 ・給食食器改善 135,911 ・(仮称)東部共同調理場建設 116,565 ・(仮称)大在東グラウンド整備 88,000 など
- 産業基盤の確立**
 企業立地促進助成金 595,440 ・(仮称)大分市産業活性化プラザ 27,700 ・人材育成 2,038 ・団塊世代と中高年者の就労推進 1,200 ・歩行者天国の実施に伴う中心市街地活性化(アントレプレナーシップ) 18,931 ・まるごと田舎暮らし協働体験 1,365 ・「関のうまいもん」開発及び流通支援 3,950 など
- 都市基盤の整備**
 大分駅周辺総合整備(駅南土地地区画整理 4,138,000 ・駅付近連続立体交差 616,300 ・関連街路 473,400) ・浜町・芦崎・新川地区住環境整備 265,000 ・(仮称)竹中第2住宅建設 125,000 ・敷戸住宅建設 104,944 ・中央通り整備 75,000 ・佐賀関大志生木神崎線改良 58,500 など
- 防災安全の確保**
 南消防署建設 547,911 ・地域防災指導者養成 6,000 ・AED整備 18,000 ・木造住宅耐震診断促進 6,550 ・既成住宅防災工事等助成 1,000 など
- 魅力風格の創造**
 ・地域まちづくり活性化 65,000 ・ご近所の底力再生 40,000 ・(仮称)たくみの里づくり 9,000 ・地域コミュニティポータルサイト整備 17,976 ・地球市民・夢アクティブ21(大分市武漢友好都市市民交流拠点設置 8,533 ほか) 18,717 ・フィルムコミッション(アントレプレナーシップ) 26,663 ・大分トリニータホームタウン推進 20,600 など
- 計画の推進**
 ・新総合計画策定 19,443 ・(仮称)佐賀関市民センター建設 35,000 ・広域行政窓口サービス 9,480 ・戸籍システム開発 170,116 ・統合型GIS開発 164,812 ・税総合システム 113,127 ・アートプラザ立体駐車場建設 38,366 ・コールセンター開設 20,000 など

3つの柱

地域コミュニティの再生 2億4,000万円

- ・地域まちづくり活性化事業
- ・ご近所の底力再生事業
- ・地域力向上推進事業
- ・地域コミュニティポータルサイト整備事業
- ・おおいた『元気印』まちづくり応援事業
- ・青少年育成事業(補導員活動)
- ・有価物集団回収運動の推進事業
- ・きれいにしょうえおおいた推進事業 など

市民の健康づくり 5億5,200万円

- ・中高年に対する健康増進事業
- ・健康づくりのまち明野(地域まちづくり活性化事業)
- ・地域健康づくり推進事業
- ・老、成人健康教育事業
- ・精神保健福祉相談指導事業
- ・歯科保健推進事業
- ・基本健康診査事業
- ・がん検診事業
- ・総合型地域スポーツクラブ事業
- ・自転車モニター事業
- ・サイクルフェスタ など

安心・安全のまちづくり 20億2,800万円

- ・(仮称)大分市国民保護計画策定事業
- ・地域防災指導者養成事業
- ・木造住宅耐震診断促進事業
- ・消防車両購入事業(地震体験車)
- ・南消防署建設事業
- ・災害対策ポンプ設置事業
- ・北鼻川排水機場建設事業
- ・河川整備事業
- ・小中学校校舎等耐震化推進事業
- ・地域防災訓練事業
- ・自主防災組織関連事業 など

三位一体改革の影響

影響総額 △ 3億5,000万円

国庫補助負担金の改革

△ 23億7,000万円

児童扶養手当・児童手当・公立保育所運営費補助金・準要保護児童生徒援助費補助金・公営住宅家賃収入補助金・養護老人ホーム等保護費負担金・介護保険事務費補助金など

税源移譲

31億円

所得譲与税

交付税の改革

△ 10億8,000万円

地方交付税
臨時財政対策債

△ 6億8,000万円
△ 4億円

年度	16年度	17年度	18年度	3カ年合計
大分市への影響額	△34億3,000万円	△7億3,000万円	△3億5,000万円	△45億1,000万円

行政改革への取組み

財源捻出総額 13億7,600万円

行政改革アクションプランへの取組み

業務執行方式の見直し

5億200万円

古紙・布類回収運搬業務委託・佐野清掃センター清掃工場運搬業務委託・市民いこいの家などへの指定管理者制度の導入・霊山青年の家の廃止・マイクロバス1台、保健所車の廃止・青少年補導車の管財課一元管理・文書運送業務、校務員、事務補佐員業務及び学校給食調理業務への臨時、嘱託職員の活用

給与の適正化(調整手当の見直し等)

2億3,800万円

一般行政事務経費の削減

1億9,500万円

補助・負担金の見直し(39件)

3,500万円

行政評価への取組み

3億9,000万円

出産奨励祝金支給事業・チャイルドシート貸出事業・金融対策事業(信用保証料補給金)・障害者福祉手当・機能訓練事業など

その他(車両リース化)

1,600万円

行政改革の取組みによって捻出した財源は、新年度重点的に取り組むこととしている3つの柱や新規事業あるいは子育て支援事業等に振り向けた。

予算規模等

会計区分	平成18年度当初予算額	対前年度比較	平成18年度末 主要基金残高見込	基礎的財政収支 (プライマリーバランス)
一般会計	1,493億1,000万円	1.9%増	105億円	72億円の黒字
14特別会計	1,236億8,500万円	5.5%増		
水道事業会計	193億7,700万円	3.2%増		
合計	2,923億7,200万円	3.5%増		

平成18年度の当初予算は、景気の回復基調を受け法人関係を中心に市税収入の増加が見込まれるものの、三位一体改革の影響を受ける中、扶助費をはじめとする社会保障関係費が増加するなど、大変厳しい予算編成となったが、行政改革への取組みや30億円の基金活用を図りながら、合併建設計画に掲げる各種事業や、福祉、環境、教育など市民生活に密着した分野への効率的、重点的な財源配分に努めるとともに、新規事業にも積極的に取り組んだ。

中でも3つの柱として掲げる「地域コミュニティの再生」「市民の健康づくり」「安心・安全のまちづくり」については、特に力を入れて展開してまいりたい。